

# 松崎町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

## 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、水稻に占める主食用米の面積が多く、転作作物としては野菜が主である。農業者の高齢化や担い手不足により、農家戸数の減少が見られるとともに、基盤整備のされていない水田をはじめ、不作付地の拡大が進んでいる。

## 2 作物ごとの取組方針

町内の水田（不作付地を含む）について、適地適作を基本として、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

### (1) 主食用米

自家消費、個人販売の割合が多い。現行の作付面積を維持する。

### (2) 非主食用米

### (3) 麦、大豆

### (4) そば、なたね

### (5) 野菜

「桜葉」を振興品目とする。

生産者の高齢化や担い手不足、作業の大変さから栽培面積が減少する中、国からの産地交付金を活用し、新規生産者の確保を図る。3年後においても、現行の栽培面積を維持する。

### (6) 不作付地の解消

現行の不作付地（約10ha）について、振興品目の新規生産者の確保を図り、3年間で0.4haの解消に努める。

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 26 年度の作付予定面積 (ha)	平成 28 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	71	69	65
加工用米			
備蓄米			
米粉用米			
飼料用米			
WCS用稲			
麦			
大豆			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物			
野菜	5.2	5.4	5.6
・			
・			
・			

### 4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 26 年度 (予定)	平成 28 年度 (目標値)

※「分類」欄については、要綱（別紙 10）の 2（5）の ア、イ、ウのいずれに該当するか記入して下さい。

（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組の記号をいずれか 1 つ記入して下さい。）

ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組